FUJIFILM

BL01257-102 JA

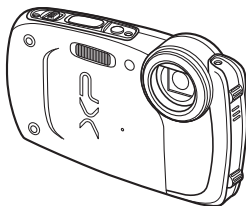
DIGITAL CAMERA

FINEPIX XP30 シリーズ

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス XP30 シリーズ、および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

便利なボタン

■ 消去ボタン

➡ 🗑（▲）ボタンを押す。

消去する画像を選べます。

■ 再生中にすばやく撮影

➡ 再生中にシャッターボタンを半押しする。

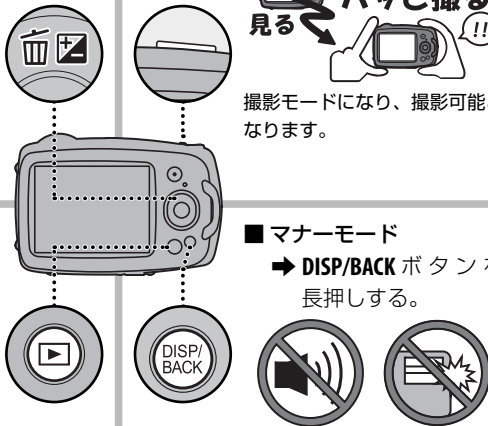
撮影モードになり、撮影可能となります。

■ 再生モードで電源オン

➡ 電源オフ時に ▶（再生）ボタンを長押しする。

再生モードでカメラの電源がオンになります。

■ マナーモード

➡ **DISP/BACK** ボタンを長押しする。

フラッシュと LED ライトが発光禁止となり、操作音や再生音などもオフになります。

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（📖 129）をお読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

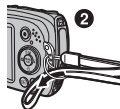
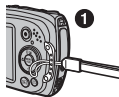
- 充電式バッテリー
  NP-45A（1 個）
- バッテリーチャージャー
  BC-45B（1 式）

- 専用 USB ケーブル
  （1 本）

- CD-ROM（1 枚）

- ストラップ（1 本）
- 使用説明書一式
- 保証書（1 部）

ストラップの取り付け方

下のようにしてストラップを取り付けてください。

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

目次 ➡ 📖 6

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

トラブルシューティング /FAQ ➡ 📖 103

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

警告表示 ➡ 📖 113

画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

各撮影モードで使用できる機能について ➡ 📖 127

撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。

索引 ➡ 📖 142

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

本書で使われている記号について

- ⓘ：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

画面のイラストについて

本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

目次

メニューを使いこなす 76

このカメラの特徴と使用上のご注意

防水・防塵・耐衝撃性能について

■ 防水 / 防塵機能について

- ! このカメラは JIS 防水保護等級 8 級、JIS 防塵保護等級 6 級（IP68）相当の防水・防塵機能を備えています。
- ! このカメラの耐衝撃性は、MIL-Standard 810F Method 516.5-Shock の測定方法に準じた、当社独自の基準（高さ :1.5ｍ、落下面 : 厚さ 5cm 合板）での落下テストをクリアしています。
  - ※ 当社試験条件によるものであり、すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
  - ※ このカメラの付属品には防水機能はありません。

■ 使用前の注意 / ご確認事項

- ! このカメラは、レンズ正面に保護ガラスを使用しています。保護ガラスが汚れていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようにしてください。
- ! 必ずバッテリーカバーと端子カバーが確実にロックされていることを確認してください。カメラの内部に、水・泥・砂が入ると故障の原因になります。
- ! 水辺（海上・湖上・海辺・湖畔等）でのバッテリーカバーや端子カバーの開け閉め、ぬれた手での開け閉めはしないでください。
- ! バッテリー、メモリーカードの交換や USB ケーブル、AV ケーブルの接続は、カメラが完全に乾いた状態で行ってください。
- ! このカメラは水中で沈みます。必ずストラップを取り付け、使用する際には腕に巻いて落ちないように注意してください。

■ 使用中の注意 / ご確認事項

- ! 水深 5ｍ を超えては使用しないでください。
- ! 水中で 120 分以上使用しないでください。
- ! 水中では、バッテリーカバーの開け閉めはしないでください。
- ! 温泉 / 温水では使用できません。
- ! 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- ! カメラを砂の上に置いたままにすると、カメラの使用温度を超えたり、スピーカーやマイクに砂が詰まったりすることがあります。

- 日焼け止めやサンオイルなどが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万一付着したときは、ぬるま湯で洗い流してください。
- カメラに強い振動、圧力、衝撃が加わると防水機能が損なわれる原因になります。もし強い振動・圧力・衝撃が加わった場合は、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。

■ 使用後のご注意 / ご確認事項

- 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってください。そのままにすると、パッキンやパッキンの当たる面に傷がつきます。パッキンの傷やへこみは防水効果を損ないます。
- カメラを海中で使用したときや、砂や泥、ほこりなどがカメラに付着するような場所で使用したときなどは水道水を少し流しながら水洗いするか、容器に真水をため（2 ～ 3 分）つけ置き洗いしてください。
- 石けん水・中性洗剤・アルコール・薬品などでの洗浄は、防水効果を損ないますのでしないでください。
- 使用後は、カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取り、バッテリーカバーをしっかり閉めて、真水に 10 分程度入れてください。その後、十分に乾燥させてください。

■ 保管・お手入れについて

- 高温（40℃以上）や低温（0℃以下）の場所に放置しないでください。
- 防水性能を維持させるために、1 年に 1 度防水パッキンの交換をおすすめします（防水パッキンの交換は有料です）。詳しくは、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。

■ 寒冷地でのご使用について

使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が一時的に低下し、撮影可能枚数が少なくなります。寒冷地で使用する場合はカメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

- バッテリーは付属の NP-45A をご使用ください。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

1 ズームレバー ......29、47
2 シャッターボタン......30
3 **ON/OFF**（電源）ボタン......24
4 フラッシュ 43
5 セルフタイマーランプ......45
/LED ライト 80
6 GPS アンテナ（内蔵）......36
7 レンズ / レンズ保護ガラス 29
8 スピーカー 58
9 マイク......57
10 液晶モニター（LCD）......14
11 ⦿（動画撮影）ボタン 56
12 インジケーターランプ......下記参照
13 ストラップ取り付け部......4
14 バッテリーカバーロック 18
15 端子カバーロック......60
16 **DISP**（表示）/**BACK**（戻る）ボタン....15、26
マナーモード（長押し）......3
17 ▶（再生）ボタン ......31、46
18 三脚用ねじ穴
19 USB・A/V OUT（音声 / 映像出力）兼用端子......60、68、71
20 メモリーカードスロット 19
21 バッテリー取り外しつまみ 21
22 バッテリー挿入部......18

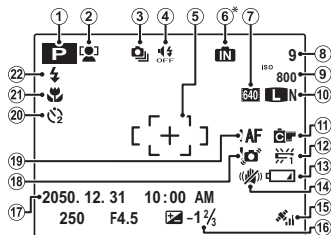
インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

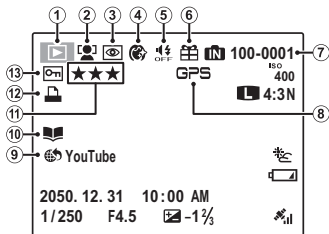
ランプの状態	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

液晶モニターの表示

撮影時および再生時には、液晶モニターに次の情報が表示されます。

■ 静止画撮影時

＊ IN はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

番号	項目	ページ
1	撮影モード	32
2	顔キレイナビ	39
3	連写	79
4	マナーモード	92
5	AF フレーム	40
6	内蔵メモリー ＊	
7	動画ピクセル	57
8	撮影可能枚数	122
9	感度	77
10	画像サイズ・画質モード	77、78
11	FINEPIX カラー	78
12	ホワイトバランス	78
13	バッテリー残量表示	15
14	ブレ防止	98
15	GPS 受信状態	36
16	露出補正	41
17	日付・時刻	25
18	手ブレ警告	44、113
19	AF 警告	30、113
20	セルフタイマー	45
21	マクロ（近距離）	42
22	フラッシュ	43

■ 再生時

1	再生モード	31、46
2	顔キレイナビ	39
3	赤目補正	85
4	美肌モード	33
5	マナーモード	3、92
6	プレゼント	46
7	コマ NO.	96
8	GPS 情報	37
9	アップロード先設定	84
10	フォトブックアシスト	52
11	お気に入り	46
12	プリント予約	74
13	プロテクト	86

■ バッテリー残量

表示	意味
(白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
(白点灯)	バッテリーの残量は約半分以下です。
(赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
(赤点滅)	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

■ 液晶モニターの表示切り換え

DISP/BACK ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が切り換わります。

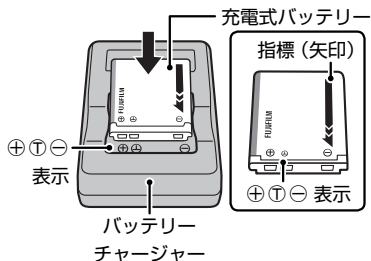
- **撮影時**：「情報表示あり」、「情報表示なし」、「ベストフレーミング」
- **再生時**：「情報表示あり」、「情報表示なし」、「★ お気に入り」（46）

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-45A です。
- 充電時間については、📖 126 をご確認ください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

⊕Ⓣ⊖ 表示に従って、下図の方向で正しくセットしてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
点灯（緑）	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯（黄）	充電中	—
点滅（黄）	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

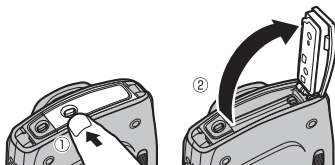
3 充電が終了すると、充電ランプは緑が点灯します。

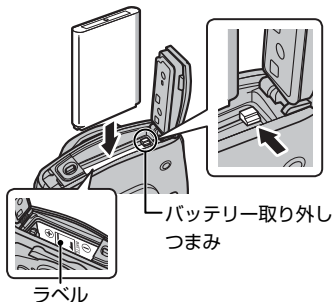
- 同梱されているバッテリーチャージャーは電源電圧（100-240V）電源周波（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」(📖 129) を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

1 バッテリーカバーロックを矢印の方向へ押すと、バッテリーカバーが開きます。

カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取ってから、バッテリーカバーを開けてください。

2 バッテリーを入れます。

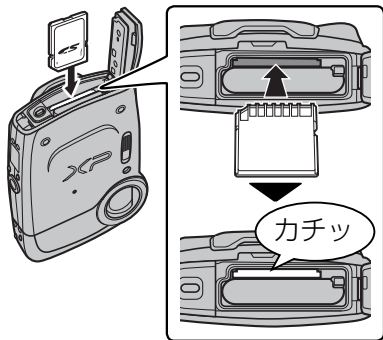
- 金色の端子を下にして、バッテリー挿入部の中のラベルにバッテリーの向きを合わせます。
- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

① バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

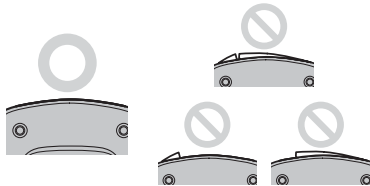
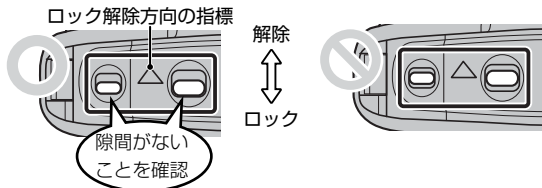
3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

⓵ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（IN と画面に表示されます）に記録されます。

4 バッテリーカバーを閉めます。

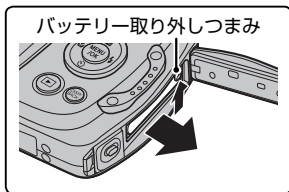
防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いていないか確認してから閉めてください。

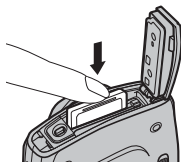
必ずご確認ください

• バッテリーカバーと端子カバーが本体から浮き上がっていませんか？

• バッテリーカバーと端子カバーが正しくロックされていますか？

バッテリー / メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてから、バッテリーカバーロックを押してバッテリーカバーを開けます。

- **バッテリーを取り出す**

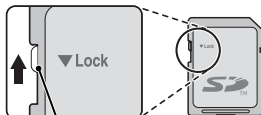
  バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

- **メモリーカードを取り出す**

  メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画を撮影するときは、CLASS④ 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

① メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

① SD/SDHC/SDXC メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

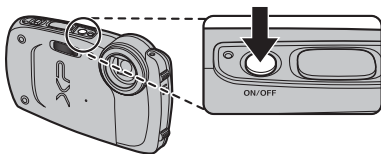
① 未使用の SD/SDHC/SDXC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC/SDXC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット(📖93) してからご使用ください。

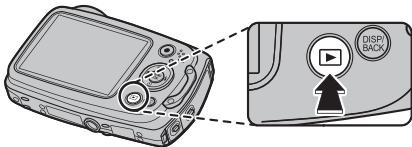
① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ① メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- ① SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- ① カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- ① カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。

電源をオンにする / オフにする

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

再生中に ▶（再生）ボタンを押すと電源がオフになります。

- 撮影中に ▶（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **自動電源OFF**（98）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

① レンズ保護ガラスに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語や日時などは設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

- 言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」(91)で、**日時設定**または **言語/LANG.** を選んだあとに、以下の手順で再設定できます。

1 電源をオンにします。
言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
言語が設定され、日時設定画面が表示されます。

3 年月日の並び順を設定します。
▲▼ で年月日の並び順を選びます。

4 年、月、日、時、分を設定します。
◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定が終了して、撮影を開始できます。

- バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

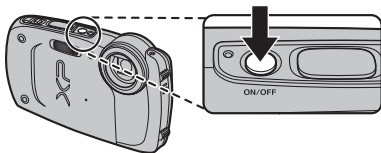
設定のスキップ

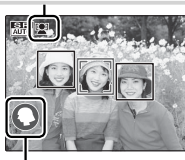
DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

SR AUTO（シーンぴったりナビ）で撮影する

ここでは、SR AUTO 撮影の基本的な流れを説明します。被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動的にシーンを認識して最適な設定にします。

1 **ON/OFF**（電源）ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。

SR AUTO 撮影画面が表示されます。

[人物検出アイコン] について

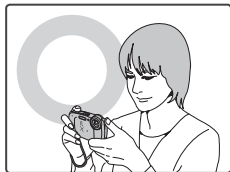
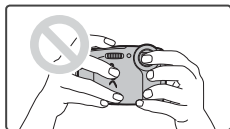
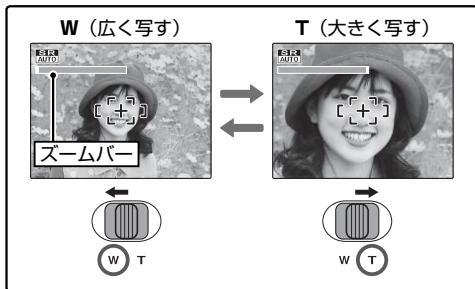
カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

シーンアイコン

カメラが最適なシーンを認識すると、画面にシーンアイコンが表示されます。

- [人物アイコン]：人物
- [夜景アイコン]：夜景
- [夜景&人物アイコン]：夜景＆人物
- [風景アイコン]：風景
- [マクロアイコン]：マクロ
- [逆光&人物アイコン]：逆光＆人物

シーンを認識しなかった場合は、AUTO **AUTO** で撮影されます。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

- レンズ保護ガラスやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

3 ズームレバーを動かして、構図を決めます。

4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

- **ピントが合ったとき**

  ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

- **ピントが合わないとき**

  赤色の AF フレームと **!AF** が液晶モニターに表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (📖40)。

◆ シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます(全押しします)。

写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

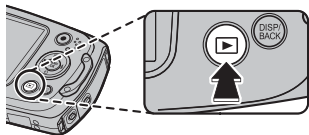
◆ 暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（📖43)。

① 常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください（📖15)。

撮影した画像を見る

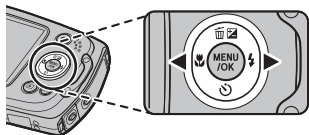
撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 **▶（再生）ボタンを押します。**

最後に撮影した画像が液晶モニターいっぱいに表示されます。

2 **◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。**

◀：前の画像が表示されます。

▶：次の画像が表示されます。

✎ シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

シーンに適したモードで撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

1 **MENU/OK** ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

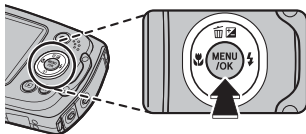
2 撮影モードを選んで、▶ を押します。

撮影モードの選択画面が表示されます。

3 撮影モードを選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。

撮影モードが設定され、撮影メニューに戻ります。

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影画面に戻ります。

撮影モード一覧

撮影モード	機能
シーンぴったりナビ	被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします (28)。
AUTO	カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。
P プログラム	カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。
高感度 2 枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
ナチュラルフォト	暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真を撮影します。
人物	人物の撮影に適しています。
美肌	肌を滑らかに撮影します。
風景	昼間の風景撮影に適しています。
ぐるっとパノラマ	複数の画像を合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します (34)。
スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
水中	水中撮影を行うときに使います。
水中ワイド	水中で、被写体から離れて背景まで含めた撮影に使います。
水中マクロ	水中で、被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。
パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。
文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

ぐるっとパノラマ

2 枚または 3 枚の画像を合成し、パノラマ写真を作成します。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 ▲ を押すと、フレーム選択画面が表示されます。

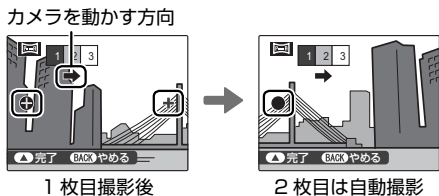
2 撮影する順番を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 1 枚目の画像を撮影します。

露出とホワイトバランスは、1 枚目を撮影したときに決定されます。

4 2 枚目の画像を撮影します。

⊕ と+が重なって ● になるようにカメラを動かします。

1 枚目撮影後　　2 枚目は自動撮影

2 枚目の画像は ⊕ と+が重なって ● になると、自動的に撮影されます。

パノラマ撮影を 1 枚目、または 2 枚目で完了するときは、▲ を押します。

5 手順 4 と同様に、3 枚目の画像を撮影します。

6 **MENU/OK** ボタンを押します。

作成されたパノラマ写真が保存されます。

① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
① 以下の場合は、ぐるっとパノラマ撮影には適していません。
- 被写体が動いている
- 被写体とカメラの距離が近すぎる
- 空や芝生など、同じような模様が続く風景
- 波や滝など常に模様が変化する風景
- 明るさが大きく変動するシーン

うまく撮影するには

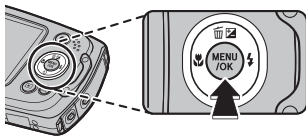
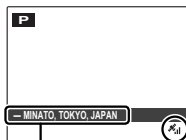
- カメラを上下左右に傾けないように注意して動かします。
- ⊕ と+が重なったときは、なるべくカメラを動かさないでください。

GPS 機能を使って撮影する

GPS 衛星から受信した位置情報をもとに、どこで撮影したかを画像に記録して、再生画面で確認できます。

◆ 空のひらけた場所で操作してください。

MENU/OK ボタンを押して、セットアップメニューを表示させ（📖91）、**GPS 測位**から **常時 ON** または **電源 ON 時のみ**を選びます。

- **常時 ON**：カメラの電源をオフにしているときも常に位置情報を測位します。次に電源をオンにしたときに測位時間が短縮されますが、バッテリーの消耗が早くなります。
- **電源 ON 時のみ**：カメラの電源がオンになっている間、位置情報を測位します。次に電源をオンにしたとき、測位に時間がかかる場合があります。

① **常時 ON** に設定している場合でも、バッテリーの残量が ▭ 以下のときは自動的に **電源 ON 時のみ**に設定されます。

受信した緯度経度をもとにした地名、または緯度経度が表示されます（地名表示の例）。

◆ セットアップメニューの **GPS 位置情報表示**を **OFF** にすると、画面に位置情報が表示されなくなります（📖95）。

- ① GPS 機能が働いている場合、寒冷地の低温下などでは、撮影枚数や使用時間が減少することがあります。
- ① 測位には数百メートルの誤差が生じる場合があります。
- ① お使いになる場所によっては、測位ができないことがあります。測位するときは、できるだけ空のひらけた場所でカメラの電源をオンにしてください。
- ① 画像には最後に測位した位置情報を記録します。このため、電源をオンにした直後や測位できない状態が続いたときは、実際に撮影した場所と記録した位置情報に誤差が生じることがあります。
- ① 飛行機の離着陸時には、GPS **測位**（📖93）と GPS **移動軌跡**（📖94）を **OFF** にしてください。
- ① 病院内では GPS **測位**（📖93）と GPS **移動軌跡**（📖94）を **OFF** にしてください。
- ① 記録される地名や建物の名前は地図データベースの作成時期（📖124）によるものです。地名や建物の名前に変更があっても、データが更新されることはありません。
- ① 国や地域によっては、地名や建物の名前のデータが少ない場合があります。地名がデータに存在しない場合は、緯度と経度が数秒間表示されます。

再生時の位置情報表示について

撮影時に記録された位置情報は、再生画面で確認できます。
再生モードで位置情報を記録した画像を選ぶと、数秒間位置情報が表示されます。

GPS アイコン

- ◆ 画像に位置情報が記録されている場合は、再生時に **GPS**（GPS アイコン）が表示されます。

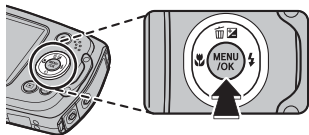
GPS 衛星から電波を受信する

衛星から位置情報を受信するときは、周辺環境やカメラの状態にご注意ください。

- カメラの GPS アンテナを手で覆わないでください（📖 12）。
- 以下のような場所では、測位できなかったり、測位が正確に行えない場合があります。
  - 乗り物の中
  - 建物の中、地下、水中
  - 高い建物の間
  - 高架、橋の下
  - トンネルの中
  - 金属製の鞄の中
  - 携帯電話など、1.5GHz 帯を利用する機器の近く
- GPS 機能を使って測位する場合は、国や地域の規則にしたがってお使いください。
- 中国などの国や地域によっては、GPS 機能が規制対象になる場合があります。渡航先で GPS 機能付きカメラに持ち込み制限がないか、事前に大使館や旅行代理店に確認してください。また、規制のある場所では、（受信不可）が表示されることがあります。

顔キレイナビを使った撮影

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

MENU/OK ボタンを押して撮影メニューを表示させ、**顔キレイナビ**を **ON** にします（76）。

緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

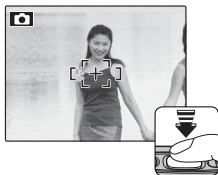
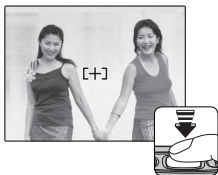
縦位置撮影時も顔を検出できます。

撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。

各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

AF/AE ロック撮影

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しし続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 [+] を被写体に合わせて半押しします。

2 半押ししたまま構図を変えます。

3 全押しして撮影します。

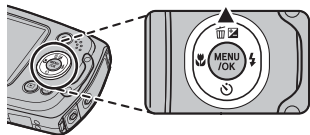
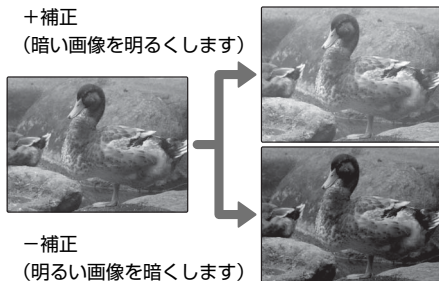
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

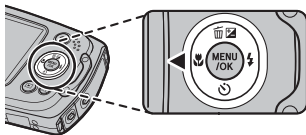
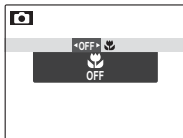
画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

▲（露出補正）ボタンを押します。

▲ または ▼ ボタンで露出を補正し、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 露出補正を± 0 以外に設定すると、液晶モニターに が表示されます。
- 設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、± 0 に設定してください。
- 露出を補正して撮影するときは、フラッシュを発光禁止にしてください。
- 露出補正は撮影モードが **P プログラム**の場合のみ使用できます。

🌷 近距離撮影（マクロ）

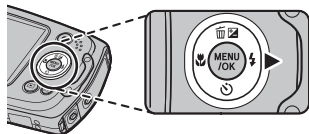
被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

◀（🌷 マクロ）ボタンを押します。

マクロ	説明
🌷	マクロを ON にします。
OFF	マクロを OFF に（解除）します。

- 近距離撮影中にズームレバーを使うと、構図を調整できます（📖29）。
- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

ϟ フラッシュ撮影（i フラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

▶（ϟ フラッシュ）ボタンを押します。

フラッシュ	（※ 1）	説明
AUTO	👁 AUTO	**オートフラッシュ（表示なし）**：ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
ϟ	👁ϟ	**強制発光**：逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
Sϟ	👁 SLOW	**スローシンクロ**：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
⊛		**発光禁止**：フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

※ **1**：顔キレイナビと赤目補正が ON のときに顔を検出した場合は、赤目現象を軽減します。

赤目現象

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象のこと。

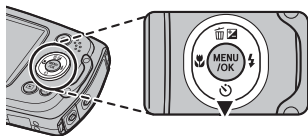
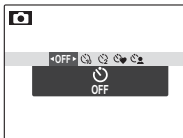
i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに が表示されます。フラッシュ設定を 以外にするか、三脚をご使用ください。
- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- フラッシュが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

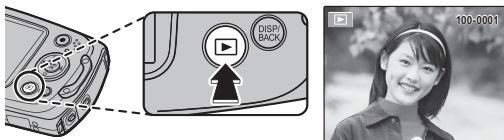
⏲ セルフタイマー撮影

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。

▼（⏲ セルフタイマー）ボタンを押します。

セルフタイマー	説明
⏲♥	**恋するタイマー**：二人の顔が近づくと自動的に撮影されます。▲ を押して撮影するラブ度（♥ の数）を設定します。ラブ度が大きくなるほど、二人の顔を近づけないとカウントダウン（秒読み）が開始されません。 ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、恋するタイマーを解除します。
⏲👤	**みんなでタイマー**：人数が揃ったときに自動的に撮影されます。▲ を押して撮影する人数を設定します。設定された人数の顔が認識されると、カウントダウン（秒読み）が開始され、自動的に撮影されます。 ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、みんなでタイマーを解除します。
⏲10	**10 秒**：シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後に撮影されます。 ◆ カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
⏲2	**2 秒**：シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後に撮影されます。 ◆ セルフタイマー開始と同時に点滅します。
⏲OFF	**OFF**：セルフタイマーを使用しません。

いろいろな再生

1 コマ再生する

▶（再生）ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

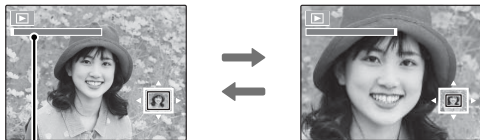
◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

★ お気に入りを設定する

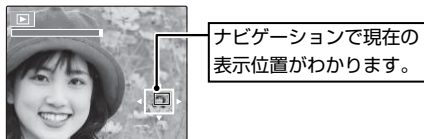
1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0 ～ 5）を設定します。

再生ズーム

1 コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

W（広角）方向へズームレバーを動かすと縮小します。　**T**（望遠）方向へズームレバーを動かすと拡大します。

ズームバー

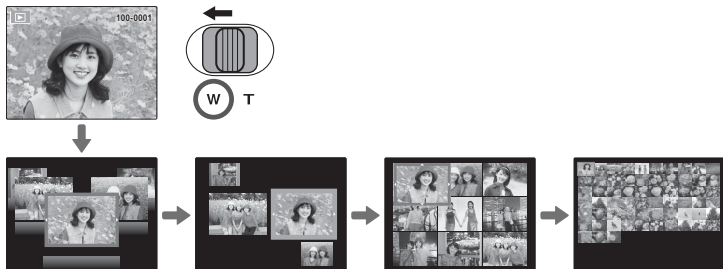
画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（📖77）によって変わります。
- **リサイズ**または **トリミング**を使って 640 以下で保存された画像は、再生ズームできません。

マルチ再生する

再生時に、1 コマ、1 コマ順序付き、2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）を表示して、画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。

ズームレバーを **W** 方向へ動かすたびに表示される画像が増えます。

- ズームレバーを **T** 方向へ動かすたびに表示される画像が減ります。
- ▲、▼、◀ または ▶ を押して画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生では、▲、▼、◀ または ▶ を押し続けると、ページを切り換えることができます。

🗑 画像を消去する

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**

MENU/OK ボタンを押して再生メニューを表示させ、🗑 **消去**から消去方法を選びます。

✎ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください(📖86)。

1 コマ消去

消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。

✎ **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やプロテクトなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

2 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。

3 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

◆ **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。
◆ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。

ピクチャーサーチ

再生メニューの **ピクチャーサーチ**で、画像を検索できます。

1 ピクチャーサーチの検索条件を選びます。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日を選んで画像を表示します。
GPS 地名で検索	撮影時に記録された地名を選んで画像を表示します。
顔で検索	顔の情報をもとにして指定した画像を表示します。
★ お気に入りで検索	指定した **★ お気に入り**ランクの画像を表示します（46）。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画、動画または加工画像を表示します。
アップロード先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。

2 **MENU/OK** ボタンを押して検索条件を決定します。

3 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合ったサーチ画面が表示されます。

- GPS 地名で検索するとき、記録された地名の頭文字が A ～ Z、ア～ワ以外の画像は「#」から検索できます。
- サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

メニュー	参照ページ
消去	49
プロテクト	86
スライドショー	85

📖 フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニューから 📖 **フォトブックアシスト**を選びます。

2 **新規 BOOK** を選び、**MENU/OK** を押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。

全画像から選択：保存されているすべての画像から 1 枚ずつ選択できます。

サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます（📖51）。

- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。

▼ で表示されている画像を表紙にします。

- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

6 **作成終了**を選びます。

- **全て選択**を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7 **MENU/OK** を押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

① フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
① 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。
  http://fujifilm.jp/personal/print/index.html

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。
◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに MENU/OK を押します。

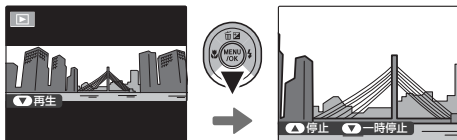
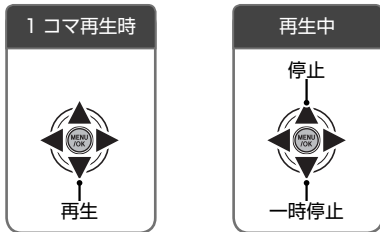
2 編集または削除を選びます。

編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法は「フォトブックを作成する」と同じです（📖52）。

削除：表示されているフォトブックを削除できます。

3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

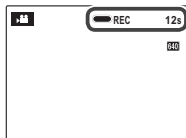
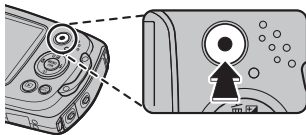
パノラマを再生する

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。撮影したパノラマ写真は左から右に表示されます。

パノラマ再生時の操作方法について

停止中（1 コマ再生時）に ▲（🗑）ボタンを押すと、現在表示中のパノラマ写真を消去できます。

動画の撮影と再生

🎥 動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 ⦿（動画撮影）ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

撮影中は、⬬REC の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

◆ 動画撮影中もズーム操作が行えます（📖29）。

2 もう一度 ⦿（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

① メモリーカードに記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。動画撮影中またはインジケーターランプ点灯中にバッテリーカバーを開けないでください。撮影した動画が再生できなくなります。

- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 動画撮影中、カメラの動作音が記録されることがあります。

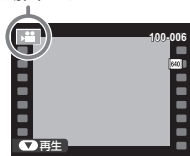
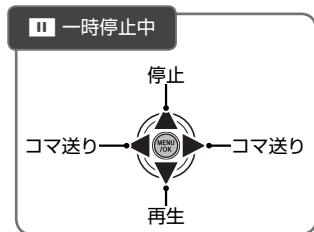
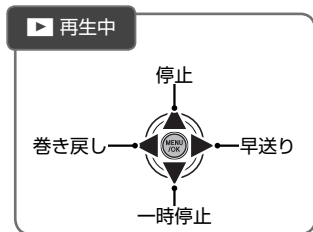
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイク（12）をふさがないようご注意ください。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。
- 長時間、動画を撮影したり、まわりの温度が高い場所で使用した場合に、カメラの温度が高くなることがありますが故障ではありません。

動画の画像サイズを変更するには

撮影メニューで **動画ピクセル**を選びます（79）。2種類のピクセルサイズから選択できます。

- **HD 1280**（1280 × 720）ハイビジョン動画
- **640**（640 × 480）標準画質

▶ 動画を再生する

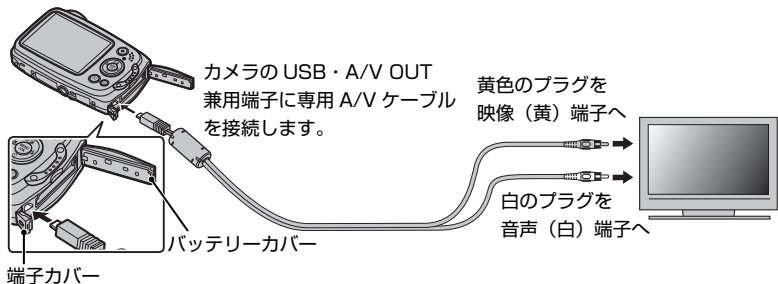
画像の再生時に動画を選択すると、🎥 が表示されます。▼ を押して、動画を再生します。

動画再生時の操作方法について

- 停止中に ▲（🗑）ボタンを押すと、現在表示中の動画を消去できます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、セットアップメニューでも設定できます。

① スピーカー（📖 12）を指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

画像をテレビで見る

テレビに接続する

カメラとテレビを接続して、画像をテレビで見ることができます。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認し、別売の A/V（音声 / 映像出力）ケーブルでカメラとテレビを接続します。

① ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

① 端子カバーを開閉するときは、バッテリーカバーを開けた状態で行ってください。

2 ▶（再生）ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

カメラの画面表示が消え、画像がテレビに再生されます。

- テレビの入力は、外部入力に切り換えます。テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書を参照してください。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質が低下する場合があります。
- ハイビジョン動画をハイビジョンテレビで再生するには、別売のアクセサリーが必要になります（📖 101、102）。HD プレーヤー HDP-L1 では、SDHC/SD カードを使用してください。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio、Macintosh: FinePixViewer）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境		
OS*	Windows 7	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上		Pentium4、2GHz 相当以上
メモリ	1GB 以上		512MB 以上
ハードディスク空き容量	15GB 以上		2GB 以上
ディスプレイ	• 1,024 × 768 ドット以上 フルカラー • DirectX 7 以上対応のグラフィックスプロセッシングユニット（GPU）		
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 • .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要		

* すべてプリインストールされたモデルのみ

① 上記に記載されている以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/ **コンピュータ**（Windows Vista）/ **マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。

2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。

3 **SETUP** または **SETUP.EXE** をダブルクリックします。

4 MyFinePix Studio のインストールをクリックします。

画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX、.NET Framework が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて「カメラとパソコンを接続する」（📖68）に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から MyFinePix Studio をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows 7/Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP）で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「FinePixViewer」をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel Processor
OS*	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.6）
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外

* すべてプリインストールされたモデルのみ。

* 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 FinePixViewer のインストールをクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

① Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

7 FinePixViewer を自動起動させます。

Mac OS X（バージョン 10.5 以前）について

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。
3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

Mac OS X（バージョン 10.6）について

1 あらかじめカメラを接続しておき、カメラの電源をオンにします。

2 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
デバイス欄に、接続したカメラが表示されます。

3 接続したカメラの動作設定を選択します。
このカメラを接続時に開くアプリケーション欄で、**その他**から **FPVBridge** を選択し、**選択**ボタンをクリックします。

4 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて「カメラとパソコンを接続する」（📖68）に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Macintosh から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。

アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。

1 **アプリケーション**フォルダにインストールされた **FinePixViewer** フォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

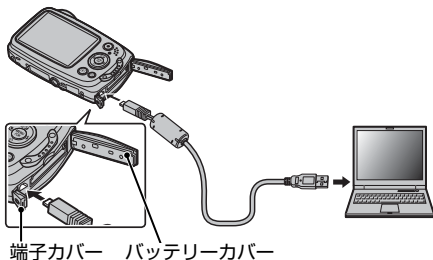
2 **Finder** メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 端子カバーを開閉するときは、バッテリーカバーを開けた状態で行ってください。

4 ▶（再生）ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

ソフトウェアが自動的に起動するので、画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- ① 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- ① カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアが自動起動しないときは、正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネット接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像をプリントする

画像のプリントについて

画像をプリントするには、いくつかの方法があります。状況に合ったプリント方法をお選びください。

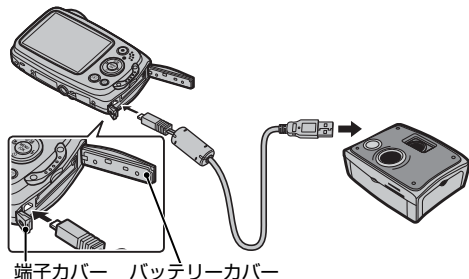
プリント方法	用途	📖
PictBridge 対応プリンターでプリント	PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターをお持ちの場合は、カメラを直接、プリンターに接続して画像をプリントできます。	71
お店プリント	画像が保存されているメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス店にお持ちいただいてプリントできます。	73
インターネットで注文プリント	画像をパソコンに転送して、インターネットによる注文で画像をプリントできます。画像をパソコンに転送してからホームページを参照してください。 http://fujifilm.jp/personal/print/index.html	—

✎ PictBride 対応プリンターやお店プリントでプリントするときは、プリントする画像やプリントする枚数をあらかじめカメラで設定できます。設定方法などの詳細は、**プリント予約（DPOF）**をご覧ください（📖74）。

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源をオンにします。

① 端子カバーを開閉するときは、バッテリーカバーを開けた状態で行ってください。

2 ▶（再生）ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

ピクトブリッジ画面が表示されます。

3 ◀ または ▶ でプリントしたい画像を選び、▲ または ▼ でプリント枚数を指定します。

プリント枚数は最大 99 枚まで設定できます。

4 手順 3 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押し、確認画面で再度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントが開始されます。

6 プリントが終了したら、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

① カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してください。

プリントの中止
プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

日付を入れてプリントする
撮影した日付を入れてプリントするには、**DISP/BACK** ボタンでピクトブリッジの設定画面を表示させ、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。
- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** ができません。

- 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- プリント枚数を 1 枚も指定せずにプリントを開始すると、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

プリント予約した画像をプリントする
プリント予約（DPOF）（74）した画像をプリントするときは、**予約プリント**を選んで、プリントしてください。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定（74）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。
詳細は、http://fujifilm.jp/personal/print/index.html を参照してください。

デジカメプリントのご注文について

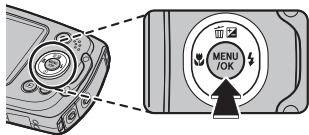
- カメラであらかじめDPOF指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、62をご覧ください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの COPY **画像コピー**（88）でメモリーカードに画像をコピーしてから **プリント予約（DPOF）**でDPOF指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（92）。
- カメラで作成したフォトブックは、対応するプリント取扱店にてご注文できます。**フォトブックアシスト**（52）でフォトブックを作成して、プリントサービス店にお持ちください。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページを参照してください。http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html

プリントする画像を指定する（🖨 プリント予約（DPOF））

再生メニューの 🖨 **プリント予約（DPOF）**であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（📖71）、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき（📖73）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付の印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

1 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

2 🖨 **プリント予約（DPOF）**を選びます。

3 **日付あり設定**または**日付なし設定**を選びます。

- **日付あり設定**：撮影日を印字します。
- **日付なし設定**：撮影日を印字しません。

4 ◀▶ でプリント予約する画像を選びます。

5 ▲▼ でプリント枚数を設定します。
設定できる枚数は、最大 99 枚です。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

6 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認の画面が表示されます。

7 再度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリント予約が設定されます。

プリント予約の解除

選んだ画像のプリント予約設定を解除する場合は、プリント枚数が 0 になるまで ▼ ボタンを押してください。

設定されている全画像のプリント予約を解除する場合は、メニューから**全コマ解除**を選び、**MENU/OK** ボタンを押してください。確認画面で再度 **MENU/OK** ボタンを押すと、全画像のプリント予約を解除できます。

- 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- 同じメモリーカードで最大 999 コマまで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、メッセージが表示されます。すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。
- 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

メニューを使いこなす

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

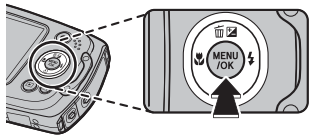
撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 撮影画面で**MENU/OK**ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 変更する項目を選び、設定を変更します。

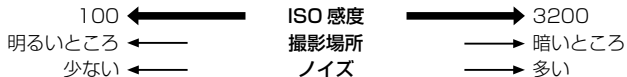
3 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

撮影モード	（工場出荷時：SR AUTO）
撮影目的や状況（シーン）に適した撮影モードを設定できます（32）。	

ISO 感度　（工場出荷時：AUTO）

光に対する感度を変更できます。

設定	説明
AUTO	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
3200/1600/800/400/200/100	設定値を変更できます。設定した値は、画面に表示されます。

画像サイズ　（工場出荷時：L 4:3）

撮影する画像の大きさを変更できます。

画像サイズが大きいほど画質が良くなり、小さいほど多くの枚数を記録できます。

設定：**L 4:3**/**L 16:9**/**M 4:3**/**M 16:9**/**S 4:3**/**S 16:9**

例：L 4:3 の場合

L 4:3

（画像サイズ）

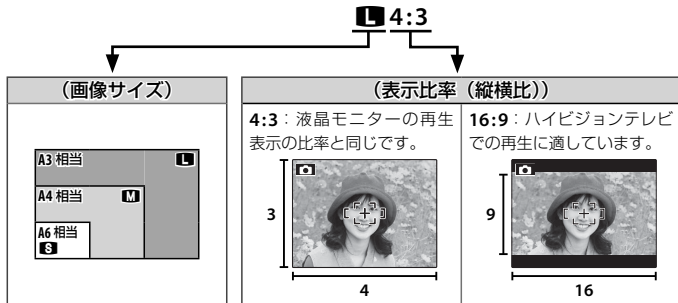
A3 相当 L
A4 相当 M
A6 相当 S

（表示比率（縦横比））

4:3：液晶モニターの再生表示の比率と同じです。

3
4

16:9：ハイビジョンテレビでの再生に適しています。

9
16

画質モード （工場出荷時：N）

撮影する画像の画質を変更できます。

設定	説明
FINE	画質優先
NORMAL	撮影枚数優先

FINEPIX カラー （工場出荷時：STD）

色調を変更できます。色鮮やかに撮影したり、白黒で撮影できます。

設定	説明
STD スタンダード	標準的なコントラストと色味で撮影します。通常はこの設定でお使いください。
C クローム	鮮やかなコントラストと色味で撮影します。花や青空や深緑などの風景に適しています。
B モノクロ	白黒の画像を撮影します。
SEPIA セピア	セピア画像を撮影します。

- **STD スタンダード**以外に設定すると、液晶モニターにアイコンが表示されます。
- 被写体によっては、**C クローム**の効果が液晶モニターでわかりにくい場合があります。

WB ホワイトバランス （工場出荷時：AUTO）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動で設定
☀	晴天の屋外での撮影用
曇天	曇天や日陰などでの撮影用
蛍光灯1	昼光色蛍光灯の下での撮影用
蛍光灯2	昼白色蛍光灯の下での撮影用
蛍光灯3	白色蛍光灯の下での撮影用
電球	電球、白熱灯の下での撮影用

- 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

連写 （工場出荷時：OFF）

動いている被写体などを連続して撮影できます。

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。

設定	シャッターボタン	撮影枚数
ON	押し続ける	最大 3 コマを記録
OFF	連続撮影しません	

- ピントと明るさは、1 コマ目を撮影したときに決定されます。
- フラッシュは発光禁止になります。ただし、 **連写**を **OFF** にすると、連写を設定する前のフラッシュ設定に戻ります。
- 連写速度は、シャッタースピードによって異なります。
- 撮影できる画像の枚数は、メモリーカードの空き容量によって異なります。

顔キレイナビ

顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます（39）。

AF モード

ピント合わせのエリアを変更できます。

設定	説明
センター固定	画面中央にある被写体にピントを合わせます。
自動追尾	被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、◀ を押すと、自動追尾を開始します。

- では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。
- マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。

動画ピクセル （工場出荷時：640）

動画の画像サイズを変更できます（57）。

LED ライト　（工場出荷時：OFF）

暗い場所で撮影するときに、近くの被写体を照らす LED ライト（12）を点灯できます。

設定	説明
ON	撮影時に LED ライトが点灯します。
OFF	LED ライトは点灯しません。

LED ライトを点灯すると、バッテリーの消耗が早くなります。使わないときは、**OFF** に設定してください。

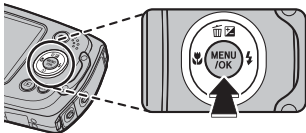
セットアップメニューの **マナーモード**が **ON** のときは、LED ライトは点灯しません（92）。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。

2 変更する項目を選び、設定を変更します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

変更した内容に設定されます。

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。

再生画面に戻ります。

再生メニュー一覧

フォトブックアシスト
画像を選んで、フォトブックを作成できます（52）。

GPS フォトコンパス

撮影時の位置情報をもとに、現在の位置からの方向や距離を表示できます。

1 セットアップメニューの GPS **測位**（93）を **常時ON** または **電源ON時のみ**に設定します。

2 再生画面で **GPS** の表示された画像を選びます。

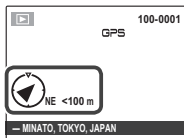
3 GPS アンテナの表示（36）で、GPS を受信していることを確認します。

3 再生メニューで GPS **フォトコンパス**を選びます。

4 GPS の位置情報を受信すると、現在の位置から撮影した場所までのおおよその距離と方角が表示されます。

100-0001
GPS
NE <100 m
MINATO, TOKYO, JAPAN

- 表示する距離の単位は、セットアップメニューの GPS **km/mile** から選べます。
- ＞1000km（＞1000mi）は、1000km（1000mile）以上を示します。
- ＜100m（＜100ft、＜100yd） は、100m（100feet、100yard）以内を示します。

- コマ送りすると、フォトコンパスを解除できます。

ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます（51）。

消去

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます（49）。

Blog 画像加工

さまざまな方法で画像を加工できます。

加工した画像は別ファイルとして保存されます。

1 加工するファイルを選びます。

2 再生メニューで Blog **画像加工**を選びます。

3 加工方法を選びます。

設定	説明
トリミング	画像の必要な部分だけを切り抜きます。
アスペクト変更	画像のアスペクト比を変更します。
明るさ	画像の明るさを変更します。
コントラスト	画像のコントラストを変更します。
カラー	画像の赤みと青みを変更します。+ 側に設定すると赤みが強くなり、－側に設定すると青みが強くなります。
セピア	画像を黒白やセピア調にします。
顔モザイク	顔キレイナビで撮影した画像は、最大で 4 人まで顔にモザイクをかけることができます。顔キレイナビを OFF にして撮影した画像には、画像の中心にモザイクがかかります。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、画像を加工します。

加工方法によっては、設定を変更してから **MENU/OK** ボタンを押して画像を加工します。

- 加工した画像は、他の加工ができません。
- 加工した画像は 640 × 480 で保存されます。
- 加工した画像を **トリミング**したり **画像回転**させたりすることはできません。

アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK、mixi へのアップロード先を設定できます。

1 再生メニューから **アップロード先設定**を選びます。

2 アップロード先を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。
- アップロード予約されていない画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を設定します。
- アップロード予約されている画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を解除します。

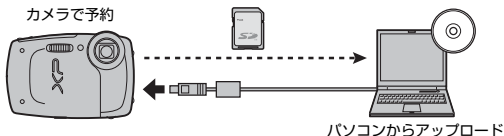
4 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

設定を終了するには、**DISP/BACK** を押します。

全コマ解除を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** を押してください。

- アップロード予約されたファイルは、再生時に **YouTube**、**FACEBOOK**、**mixi** と表示されます。
- アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。
- アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください（62）。

- この機能は Windows のみで使用できます。

スライドショー

画像を順番に自動再生できます。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- ◀/▶ ボタン：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル ※1	1 コマずつ再生
ノーマル	
フェード ※1	1 コマずつフェードアウトしながら再生
フェード	
マルチ	複数コマを一度に再生
スクラップブック	ランダムな大きさと配置で複数コマの画像を再生
BGM 設定	スライドショー中の BGM を設定

※ **1**：顔キレイナビで撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。

スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

赤目補正

顔キレイナビで撮影した画像（ が表示されている画像）の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューで **赤目補正**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニューで **プロテクト**を選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

- **設定 / 解除**：プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。
  - 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
- **全コマ設定**：すべての画像がプロテクトされます。
- **全コマ解除**：すべての画像のプロテクト設定を解除します。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（📖93）すると、プロテクトした画像も消去されます。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2 再生メニューで **トリミング**を選びます。

3 ズームレバー、十字キー（◀、▶、▲、▼）で切り抜きたい部分を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- 記録画素数が 640 のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、4：3 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 再生メニューで **リサイズ**を選びます。

3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

- 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

画像回転

画像を回転できます。

設定した画像を次に再生すると、自動的に回転した状態で表示されます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 再生メニューで **画像回転**を選びます。

3 ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）ボタンで画像を回転します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください（📖86）。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

COPY 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

1 再生メニューで COPY **画像コピー**を選びます。

2 コピーの方法を選びます。

- IN **カメラ ➡ SD カード**：内蔵メモリーからメモリーカードにコピー
- SD **カード ➡ IN カメラ**：メモリーカードから内蔵メモリーにコピー

3 ▶ を押します。

4 **1 コマ**または**全コマ**を選びます。

- **1 コマ**：表示中の画像をコピー
  - ◀ または ▶ で、続けてコピーする画像を選べます。
- **全コマ**：すべての画像をコピー

5 **MENU/OK** ボタンを押して、コピーを開始します。

- コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- **プリント予約（DPOF）**（📖90）していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

表示効果 （工場出荷時：OFF）

画像再生時に、表示する画像を切り換えるときの効果を設定できます。

設定	説明
ワイプ	ページをめくるような効果で画像が切り換わります。
スライド	スライドしながら画像が切り換わります。
フェード	フェードアウトしながら画像が切り換わります。
OFF	画像が切り換わるときの効果はありません。

動画カット

撮影した動画の必要な部分だけを切り出すことができます。

切り出した動画は別ファイルで保存されます。

1 切り出したい部分がある動画を選びます。

2 再生メニューで 動画カットを選びます。

3 ▼ を押して切り出しを開始するところまで動画を再生し、▼ を押して動画を一時停止します。

開始点が動画の最初の場合は、手順 4 に進んでください。

4 **MENU/OK** ボタンを押して開始点を決定します。

5 ▼ を押して切り出しを終了するところまで動画を再生し、▼ を押して動画を一時停止します。

最終点が動画の最後の場合は、手順 6 に進んでください。

- **DISP/BACK** ボタンを押すと、手順 3 に戻り、動画カットをやり直せます。

6 **MENU/OK** ボタンを押して最終点を決定し、動画を切り出します。

動画連結

後ろに別の動画をつなげて１つの動画にできます。

連結した動画は、１つの動画として別ファイルで保存されます。

1 連結したい動画を選びます。

2 再生メニューで**動画連結**を選びます。

3 ◀ または ▶ で、後ろにつなげる動画を選びます。

- **DISP/BACK** ボタンを押すと、手順１に戻り、動画の連結をやり直せます。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、動画を連結します。

- **動画ピクセル**が異なる動画は連結できません。
- 連結後のファイルサイズが 2GB を超える動画は連結できません。

プリント予約（DPOF）

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定できます（📖74）。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

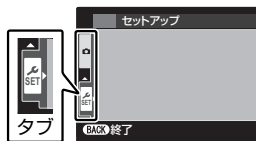
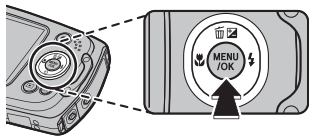
1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影 / 再生メニューが表示されます。

2 ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して SET を選びます。

3 ▶ を押します。
セットアップメニューの選択画面が表示されます。

4 変更する項目を選び、設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。

6 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影 / 再生画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください（25）。

世界時計 （工場出荷時：⌂）

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
⌂ **ホーム**	「初期設定を行う」（25）で設定した地域の日時を表示
✈ **現地**	旅行先の日時を表示

現地時間の設定

1 ✈ **現地**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 時差を設定します。

- ◀▶：＋ / －、時間、分の選択
- ▲▼：設定の変更

3 MENU/OK ボタンを押します。

✈ **現地**を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ✈ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG. （工場出荷時：日本語）

画面に表示する言語を設定します。

設定：**ENGLISH**/ **日本語**

マナーモード （工場出荷時：OFF）

ON にすると、フラッシュや LED ライト、セルフタイマーランプを発光禁止にします（撮影モード を除く）。また、操作音やシャッター音、起動音、動画の再生音をオフに設定します。

設定：**ON**/**OFF**

リセット

日時設定、**世界時計**、**ビデオ出力**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. ▶ を押すと、確認画面が表示されます。
2. **実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。

プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

- 消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

GPS 測位 （工場出荷時：OFF）

GPS 衛星から位置情報を測位できます（📖36）。

設定	説明
常時 ON	カメラの電源をオフにしているときも常に位置情報を測位します。
電源 ON 時のみ	カメラの電源がオンになっている間、位置情報を測位します。
OFF	位置情報を測位しません。

GPS 移動軌跡　（工場出荷時：OFF）

GPS 衛星から受信した位置情報を、移動軌跡ファイルとして定期的にメモリーカードに記録できます（📖36）。

◆ 記録された移動軌跡ファイルは、MyFinePix Studio で確認できます。

カメラの日時が正しく設定されているか確認してください（📖92）。

設定	説明
ON	位置情報を記録します。カメラの電源をオフにしているときも位置情報を記録するため、バッテリーの消耗が早くなります。本機能を使わないときは **OFF** にしてください。
OFF	位置情報を記録しません。

◆ 移動軌跡ファイルは、以下の場合に新しく作成されます。
- 設定を **OFF** から **ON** に切り換えたとき
- 設定を **ON** にしたまま 24 時間経過したとき

① 本機能を使うときは、「GPS 衛星から電波を受信する」（📖38）をお読みください。

① 設定を **ON** にしたままカメラの電源をオフにしても、位置情報を記録している間はインジケーターランプが橙色に点灯します。バッテリーやメモリーカードを取り出す前には、**OFF** に設定してください。メモリーカード損傷の原因になることがあります。

① 以下のような場合、本機能を **ON** に設定していても、位置情報の記録を休止します。休止中は GPS 受信アイコン（ / / / / ）が黄色く表示されます。
- バッテリーの残量が 以下のとき
- メモリーカードが挿入されていないとき
- メモリーカード残量が 32MB 以下のとき

位置情報の記録を再開するときは、十分な残量のバッテリーと十分な空き容量のメモリーカードを挿入してから本機能を **ON** に設定してください。

① 動画の撮影中や再生中は、位置情報の記録が中断される場合があります。

GPS 位置情報表示 （工場出荷時：ON）

GPS 情報を表示させるかどうかを設定します（📖36）。

設定：**ON**/**OFF**

GPS km/mile

GPS の位置情報を表示する単位を設定します（📖36）。

設定：**km (m)/mi (ft)/mi (yd)**

撮影画像表示 （工場出荷時：1.5 秒）

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

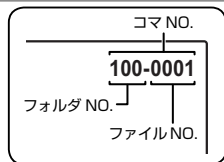
設定	説明
3 秒	撮影した画像を一定時間表示
1.5 秒	
画像拡大チェック	**MENU/OK** ボタンを押すまで画像を拡大して表示
OFF	表示なし

- **3 秒**、**1.5 秒**のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- **連写**では、撮影後、必ず撮影結果が表示されます。

コマ NO.　（工場出荷時：連番）

コマ NO.（フォルダ NO. ーファイル NO.）の付け方を設定します。

メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

設定	説明
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

- ◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（116）。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- ◆ **リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

操作音量　（工場出荷時：）

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定：OFF / / /

- ◆ 音を消したいときは、OFF を選びます。

シャッター音量　（工場出荷時：）

シャッターをきるときの音量を設定します。

設定：OFF / / /

- ◆ 音を消したいときは、OFF を選びます。

音色 （工場出荷時：♪1）

シャッター音、起動音、操作音の音色を設定します。

設定：シャッター音 **♪1/♪2**
起動音 **♪1/♪2/♪3**
操作音 **♪1/♪2/♪3**

再生音量 （工場出荷時：7）

再生時の音量を設定します。

設定：**0 ～ 10**

モニター明るさ （工場出荷時：AUTO）

画面の明るさを設定します。

設定	説明
AUTO	撮影時の画面の明るさを自動的に調節します。再生時の画面の明るさは自動的に調節されません。
マニュアル	–5 ～ +5 の範囲で画面の明るさを設定できます。▲ または ▼ を押して画面の明るさを選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

モニター表示 （工場出荷時：節電 ON）

消費電力を抑えてバッテリーを長持ちさせるため、自動的に液晶モニターを暗くすることができます。

設定	説明
節電 ON	数秒間何も操作しないときに、自動的に液晶モニターが暗くなります。シャッターボタンを半押しすると、再び明るくなります。 ◆ 再生時や動画の撮影時には液晶モニターは暗くなりません。
節電 OFF	液晶モニターは暗くなりません。

自動電源 OFF （工場出荷時：2 分）

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5 分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2 分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。

ブレ防止モード （工場出荷時：1 常時）

手ブレを軽減します。

設定	説明
1 常時	撮影モードでは常にブレ軽減を行います。
2 撮影時	シャッターボタンの半押し時のみブレ軽減を行います。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は **OFF** にすることをおすすめします。

赤目補正 （工場出荷時：ON）

ON にすると、暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

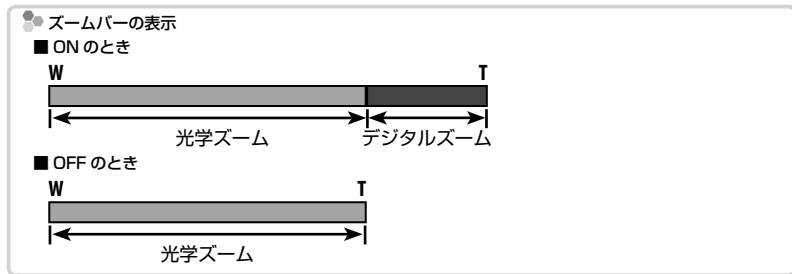
設定：**ON**/**OFF**

顔が検出できないときは、赤目補正されません。

デジタルズーム （工場出荷時：OFF）

ON にすると、より拡大した撮影が可能になります。

光学ズームの望遠端（最大倍率）でズームレバーを **T**（望遠）側へ動かすことにより、デジタルズームを使用できます。

設定：**ON**/**OFF**

- デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

補正前画像記録 （工場出荷時：OFF）

ON にすると、赤目を補正する前の画像も記録します。

設定：**ON**/**OFF**

撮影ガイド表示 （工場出荷時：ON）

ON にすると、機能の説明を表示します。

設定：**ON**/**OFF**

ビデオ出力

ビデオ出力の方式を設定します。

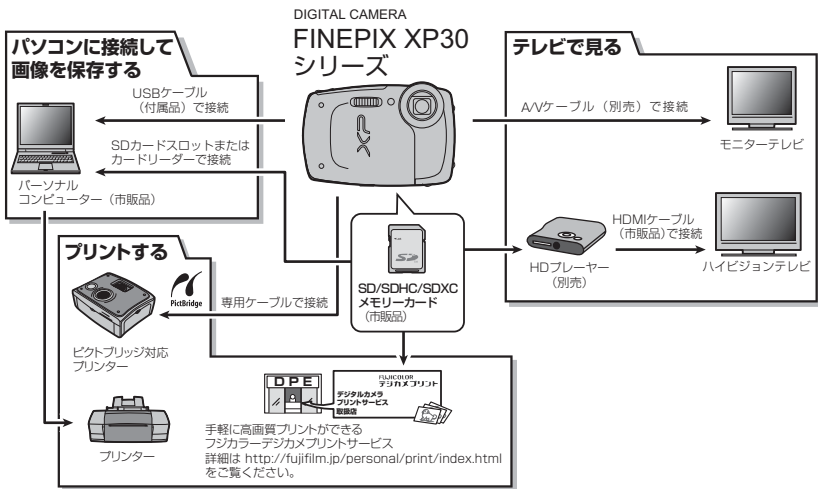
各国の方式に合わせて設定してください。

設定：**NTSC**/**PAL**

- 日本国内で使用するときは **NTSC** を選んでください。

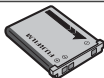
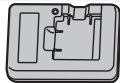
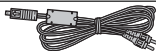
カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

* HD プレーヤーでは、SDXC カードは使用できません。
* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます（パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html
* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-45A：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-45W：充電式バッテリー NP-45A を充電します。充電時間は約 120 分（+ 20℃において）です（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。

A/V（音声 / 映像）ケーブル AV-C1：カメラとテレビを接続できます。

HD プレーヤー HDP-L1：ハイビジョンテレビと接続して SD/SDHC カードの静止画や動画を再生することができます（接続には市販の HDMI ケーブルが必要です）。

※ 最新情報については、富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 浸水してしまったとき

<table>
<tr><th colspan="2">症状</th><th>処置</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">浸水について</td><td>誤って、水中でバッテリーカバーを開けてしまいました。</td><td rowspan="2">電源を入れずに、そのまま弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。</td><td rowspan="2">139</td></tr>
<tr><td>誤って、水中でバッテリーカバーが完全に閉じていないときに、水につけてしまいました。</td></tr>
</table>

■ 電源とバッテリー

<table>
<tr><th colspan="2">症状</th><th>ここをチェック！</th><th>処置</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="3">バッテリー、電源について</td><td rowspan="3">ON/OFF（電源）ボタンまたは ▶（再生）ボタンを押しても電源がオンになりません。</td><td>バッテリーが消耗していませんか？</td><td>充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。</td><td>16、18</td></tr>
<tr><td>バッテリーを正しい向きで入れていますか？</td><td>バッテリーを正しい方向で入れ直してください。</td><td>18</td></tr>
<tr><td>バッテリーカバーはきちんと閉まってますか？</td><td>バッテリーカバーをしっかり閉めてください。</td><td>20</td></tr>
</table>

症状		ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		撮影モードが SR AUTO に設定されていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、📷（AUTO）での撮影をおすすめします。	33
		AF モードを **自動追尾**に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、**AF モード**を **センター固定**に設定して撮影してください。	79
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	バッテリーの消耗が早いです。	GPS **測位**を **常時 ON** に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、GPS **測位**を **電源 ON 時のみ**または **OFF** に設定してください。	93
		GPS **移動軌跡**を **ON** に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、GPS **移動軌跡**を **OFF** に設定してください。	94
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18

症状		ここをチェック！	処置	📖
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	16
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	16
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	―
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	―
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	126

■ メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	📖
メニューが英語で表示されています。	**言語/LANG.** が **ENGLISH** になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	25、92

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が 0 になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	19、49
		メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	93
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	19
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	24
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	—
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	42
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体(📖40) を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロック撮影してください。	40
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケーターランプが橙色に点灯していませんか？	インジケーターランプが消灯するまでお待ちください。	13

症状		ここをチェック！	処置	📖
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32、127
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	39
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	29
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	40
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロが設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32、127

症状		ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	79
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	92
		フラッシュ設定が（発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを（発光禁止）以外に設定してください。	43
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュを選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	92
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	124
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	29
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズ保護ガラスに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズ保護ガラスを清掃してください。	134
		レンズ保護ガラスに指などがかかっていませんか？	レンズ保護ガラスに指がかからないようにしてください。	29
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と **!AF** が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	30、113
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	43

症状		ここをチェック！	処置	📖
撮影した画像の異常について	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像に縦筋状のノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	24
	撮影するときに紫色や白い縦スジ（スミア）が出ることがあります。	高温環境で連続使用をしていませんか？	被写体に非常に明るい部分があると紫色や白い縦スジが出る場合がありますが、CCD 特有の現象で、異常ではありません。動画では記録されますが、静止画には記録されません。動画撮影時は光源など明るい被写体が画面付近に入らないようにして撮影することをおすすめします。	57
		撮影画面内に太陽や照明など明るい被写体が入っていませんか？		
GPS について	測位に時間がかかります。	しばらく測位できない状態でしたか？	しばらく測位ができなかった状態が続いたり、GPS **測位**を **電源 ON 時のみ**にした直後やカメラの電源をオンにした直後は、測位に時間がかかる場合があります。	36
		GPS **測位**を **電源 ON 時のみ**にした直後ですか？		
		カメラの電源をオンにした直後ですか？		

■ 動画時

症状		ここをチェック！	処置	📖
動画撮影について	カメラの動作音が気になります。	ズーム操作していませんか？	ズームを固定して撮影してください。	29

■ 再生時

症状		ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	画像サイズを 640 にリサイズした画像ではありませんか？	画像サイズを 640 にリサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	97
		撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影時はマイクをふさがないでください。	57
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	58
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	86
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカード を交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	96

■ 接続時

症状		ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	60
		動画再生中に専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルを接続しませんでしたか？	動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。	58、60
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	—
		NTSC/PAL **ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	100
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	—
	テレビの画像が黒白になってしまいました。	NTSC/PAL **ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	100
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	68
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	71
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
	1 枚ずつしかプリントされません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	—
	日時が印字されません。			

■ その他

症状		ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	21
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも正常に作動しないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	21、139
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	92

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
(赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
(赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF(赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください(40)。 • 近距離撮影の場合は、マクロを設定してください。
!AE	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ(露出)ではありませんが撮影できます。
絞り、シャッタースピード表示(赤点灯)		
フォーカスエラー または **電源を入れ直してください**	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも警告表示が消えないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で COPY **画像コピー**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（📖93）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖93）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（📖93)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖93）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（📖93)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください(📖22)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖93）。

警告表示	警告内容	処置
SD 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
IN 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです		
カードを入れてください		
記録できませんでした	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (📖93)。
	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の **ON**/**OFF** を繰り返してください。それでも警告表示が消えないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (📖93)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	5000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしました。	5000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。

警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、**コマ No.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。**コマ No.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください（86）。
SD 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
IN 画像がありません		
640 トリミングできません	640 の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
M 実行できません	M、S、640 の画像を M にリサイズしようとしました。	これらの場合、リサイズはできません。
S 実行できません	S、640 の画像を S にリサイズしようとしました。	
640 実行できません	640 の画像を 640 にリサイズしようとしました。	
設定できません **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。

<table>
<tr><th>警告表示</th><th>警告内容</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="2">回転できません
回転できません</td><td>プロテクトされているファイルを回転しようとしました。</td><td>プロテクトしたファイルは回転できません。プロテクトを解除してください（86）。</td></tr>
<tr><td>他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。</td><td>回転できません。</td></tr>
<tr><td>実行できません</td><td rowspan="2">他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を画像加工または赤目補正しようとしました。</td><td rowspan="2">これらの画像、動画は、画像加工または赤目補正できません。</td></tr>
<tr><td>実行できません</td></tr>
<tr><td>DISP を長押ししてマナーモードを解除してください</td><td>マナーモード時にフラッシュや音量を設定しようとしました。</td><td>マナーモード時は、フラッシュや音量の設定はできません。フラッシュや音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。</td></tr>
<tr><td>接続できませんでした</td><td>パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。</td><td>• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。
• パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。</td></tr>
<tr><td>プリンターエラー</td><td>用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。</td><td>• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。
• プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。
• お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。</td></tr>
<tr><td>プリンターエラー
再開しますか？</td><td>用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。</td><td>プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は MENU/OK ボタンを押して、プリントを再開してください。</td></tr>
</table>

警告表示	警告内容	処置
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできないコマです	他のカメラで撮影した画像（ ）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

何かと便利な機能 / 操作

バッテリーを長持ちさせるには

以下のように設定するとバッテリーが長持ちするようになります。

- 顔キレイナビ（39） ➡ OFF
- AF モード（79） ➡ センター固定
- LED ライト（80） ➡ OFF
- 測位（93） ➡ OFF
- 移動軌跡（94） ➡ OFF
- モニター表示（97） ➡ 節電 ON
- ブレ防止モード（98） ➡ OFF

セルフタイマーの便利な使い方

- **2 秒タイマーでブレ防止**
  シャッターボタンを押す際にカメラが動くのを防ぎたいときに便利です。
- **みんなでタイマーで集合写真**
  シャッターボタンを押す人がフレーム内に入るまでカウントダウンを開始しません。

顔キレイナビ機能の便利な使い方

顔キレイナビ（39）を **ON** にして撮影すると、以下のような機能が使えます。

撮影

- セットアップメニューの **撮影画像表示**を**画像拡大チェック**にすると、撮影後に顔を拡大して確認できます。
  ➡ **撮影画像表示**（95）
- セットアップメニューの **赤目補正**を **ON** にすると、検出した人物の赤目を補正できます。
  ➡ **赤目補正**（98）

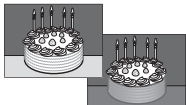
再生

- 再生時に ▼ を押すと、顔を拡大できます。
  ➡「撮影した画像を見る」（31）
- スライドショー時に顔を拡大できます。
  ➡ **スライドショー**（85）
- 顔で人物を検索できます。
  ➡ **ピクチャーサーチ**（51）
- 顔の部分のみを拡大して切り取れます。
  ➡ **トリミング**（86）

プリント

- 撮影した人数分、自動でプリント枚数を設定できます。
  ➡「プリンターにカメラをつないでプリントする」（71）

使って便利！ なるほど機能

- **フラッシュ有り無し比較**
  ➡ 撮影メニューの **撮影モード**を **高感度 2 枚撮り**（33）に設定して撮影し、マルチ再生（48）で2コマ表示する。

- **被写体が動いている**
  ➡ 撮影メニューの **AF モード**を **自動追尾**に設定する（79）。

- **接近して撮影するとき、被写体が暗い**
  ➡ **LED ライト**（80）を **ON** に設定する。

- **画像の明るさを細かく調整**
  ➡ 撮影メニューの **撮影モード**を**P プログラム**（33）に設定して、適切なホワイトバランス（78）を選択してから露出補正（41）を調整する。

メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。メモリーカードなしでも、数枚程度の試し撮りは可能です。

記録媒体		内蔵メモリー（約 10MB）		2GB		4GB		8GB	
画質モード		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 4:3	1	2	320	550	640	1100	1290	2210
	L 16:9	2	3	410	780	830	1570	1680	3160
	M 4:3	3	5	630	1100	1260	2200	2540	4420
	M 16:9	3	7	820	1540	1640	3090	3290	6200
	S 4:3	6	11	1420	2350	2860	4710	5740	9450
	S 16:9	9	13	2070	2830	4150	5680	8330	11400
動画 *1	HD 1280*2	1 秒		11 分		24 分		48 分	
	640	6 秒		28 分		58 分		116 分	

*1 動画を連続して記録する場合、2GB で自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。

*2 HD 動画を撮影するときは、CLASS④ 以上のメモリーカードをご使用ください。

主な仕様

システム	
型番	FinePix XP30 シリーズ
有効画素数	約 1420 万画素
撮像素子	1/2.3 型正方画素 CCD 原色フィルター採用
記録メディア	・内蔵メモリー（約 10MB） ・SD/SDHC/SDXC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	・**静止画**：DCF 準拠（圧縮：Exif Ver.2.3　JPEG 準拠 /DPOF 対応） ・**動画**：DCF 準拠（AVI 形式、Motion JPEG）
記録画素数（ピクセル）	・L **4:3**（4320 × 3240）　・L **16:9**（4320 × 2432） ・M **4:3**（3072 × 2304）　・M **16:9**（3072 × 1728） ・S **4:3**（2048 × 1536）　・S **16:9**（1920 × 1080）
レンズ	・**名称**：フジノン光学式 5 倍ズームレンズ ・**焦点距離**：f=5.0mm ～ 25.0mm （35mm フィルム換算：約 28mm ～約 140mm 相当） ・**開放 F 値**：F3.9（広角）～ F4.9（望遠）
デジタルズーム	・**4:3**：約 6.8 倍（光学 5 倍ズームと併用　最大約 34 倍） ・**16:9**：約 5.1 倍（光学 5 倍ズームと併用　最大約 25 倍）
絞り	F3.9/F6.2（広角）、F4.9/F8.0（望遠）
撮影可能範囲（レンズ先端面からの距離）	・**標準**：[広角] 約 60cm ～∞、[望遠] 約 1.0m ～∞ ・（マクロ）：[広角] 約 9cm ～約 80cm、[望遠] 約 40cm ～約 80cm
撮影感度	AUTO、ISO 100/200/400/800/1600/3200（標準出力感度）
測光方式	TTL256 分割測光
露出制御	プログラム AE
露出補正	－ 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ

システム	
手ブレ補正機能	光学式手ブレ
シャッタースピード（メカニカルシャッター併用）	・4 秒〜 1/2000 秒（全モード合わせて） ・1/4 秒〜 1/2000 秒（AUTO モード）
連写	連写速度：約 0.8 コマ / 秒、最大 3 コマ
フォーカス	・**モード**：シングル AF ・**AF 方式**：TTL コントラスト AF ・**AF フレーム選択**：センター固定 / 自動追尾
ホワイトバランス	シーン自動認識オート / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球）
セルフタイマー	OFF/2 秒 /10 秒 / 恋するタイマー / みんなでタイマー
フラッシュ	・**方式**：オートフラッシュ ・**撮影可能範囲（感度：AUTO 時）**： - 標準：［広角］約 70cm 〜約 3.1m、［望遠］約 70cm 〜約 2.7m - 🌷（マクロ）：約 30cm 〜約 80cm
フラッシュ発光モード	・**赤目補正 OFF 時**：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ ・**赤目補正 ON 時**：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減＋強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減＋スローシンクロ
液晶モニター	2.7 型　カラー液晶モニター　約 23 万ドット（視野率　約 96%）
動画	**HD 1280**（1280 × 720）/ **640**（640 × 480）、30 フレーム / 秒、音声付き（モノラル）
言語設定	日本語、ENGLISH
地図データベースの作成時期	2010 年 10 月

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL 方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45A（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安	・**バッテリーの種類：NP-45A** ・**撮影枚数：約 200 枚** CIPA 規格による。撮影モードは AUTO 時、バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	99.2mm × 67.7mm × 23.1mm*（幅×高さ×奥行き） * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
本体質量	約 148g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	約 165g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**：–10℃～+ 40℃ **湿度**：10% ～ 80%（結露しないこと）

バッテリー NP-45A	
公称電圧	3.7V
公称容量	720mAh
使用温度	0℃〜+ 40℃
本体外形寸法 （幅×高さ×厚み）	31.0mm × 39.6mm × 6.0mm
質量	約 15.5g

バッテリーチャージャー BC-45B	
定格入力	AC 100V ～ 240V　50/60Hz
入力容量	6.0VA（100V/240V）
定格出力	DC4.2V　550mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-45A
充電時間	約 120 分（+20℃において）
使用温度	0℃〜+ 40℃
外形寸法 （幅×高さ×厚み）	46mm × 91mm × 23mm（突起物を除く）
質量	約 65g（本体のみ）

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

① 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

機能 ＼ 撮影モード		[SR AUTO]	[カメラ]	P	[N⚡]	[N]	[人物]	[顔]	[風景]	[パノラマ]	[スポーツ]	[夜景]	[夜景三脚]	[花火]	[夕焼け]	[スノー]	[ビーチ]	[水中]	[パーティー]	[カクテル]	[花]	[TEXT]	[動画]
[フラッシュ] [赤目OFF]	AUTO	✔	✔	✔			✔	✔			✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]			
	[⚡]	✔	✔	✔	✔[1]		✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	
	S⚡			✔			✔	✔				✔	✔										
[フラッシュ] [赤目ON]	[赤目AUTO]	✔	✔	✔			✔	✔							✔	✔				✔[1]			
	[赤目⚡]	✔	✔	✔	✔[1]		✔	✔						✔	✔	✔							
	[赤目SLOW]			✔			✔	✔				✔	✔										
[フラッシュ]	[発光禁止]	✔	✔	✔		✔[1]	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔[1]	✔	✔
[セルフタイマー]	[10]/[2]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[スマイル]/[グループ]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			
[マクロ]	[マクロ]		✔	✔	✔	✔													✔[1]		✔[1]	✔[1]	
	[マクロOFF]		✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]		✔[1]			
[露出補正]				✔																			
[ISO]	AUTO	✔[1]	✔[1]	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	
	3200			✔																			
	1600			✔																			
	800			✔																			
	400			✔																			
	200			✔																			
	100			✔																			
[画像サイズ]	[L]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[M]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[S]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[画質]		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[フィルムシミュレーション]	[STD]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[C]		✔	✔	✔	✔																	
	[B]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	[SEPIA]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[WB]				✔						✔													
[連写]	ON	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	OFF	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
[顔キレイナビ]	ON	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔				✔			
	OFF	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔	✔[1]	✔[1]	
[AFモード]	[中央]		✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	
	[マルチ]		✔	✔																			
[動画画質]	HD 1280																						✔
	640																						✔

機能 / 撮影モード		SR AUTO		P																		TEXT	
		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	1	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	2	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	OFF	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
		✔[2]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
		✔	✔	✔	✔		✔	✔				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			
GPS		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
fps		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔

1 自動的に固定されます。

2 **OFF** 固定

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ **警告**	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない（防水機能付機種を除く）。

火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でけがをする原因になります。

- 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

• 他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。

メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

けがの原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。

本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

一時的に視力に影響することがあります。

特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

• 2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が 0℃～+ 40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - ＋ 10℃～+ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+ 10℃～+ 35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が+ 15℃～+ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

(!) 危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

2 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

■取扱い上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。

- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。

注意 アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種（1、2）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウェア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピューター（以下パソコンといいます）と Windows、Macintosh の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンと Windows、Macintosh の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。
※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合 : きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- 、xD-Picture Card™、xD- ピクチャーカード ™ は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- IrSimple™ は Infrared Data Association® の商標です。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用 · 保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ保護ガラス、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。

・レンズ保護ガラス、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
・カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
・強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

・パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
・パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

重要! 本製品に搭載されている地名をご使用になる前に必ずお読みください。

地名データ使用許諾契約書

■個人使用限定

本データは、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用（非営利）の目的のためにのみ本デジタルカメラとともに使用し、サービスビューロー、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用しないことに同意してください。
従って、本データは、後述の制限を守ることを条件とし、個人的使用を目的として、(i) 閲覧及び (ii) 保存するために必要に応じてコピーすることができますが、コピーを行う際には、記載されている著作権表示の削除やデータの変更は一切行ってはなりません。
また、本データの再生やコピー、変更、逆コンパイル、分解、リバースエンジニアリングをしないことに同意してください。法律で認められている場合を除き、その形態や目的に関係なく、本データを譲渡や配布することはできません。
マルチディスクの譲渡や売却ができるのは、富士フイルム株式会社から提供されたままの完全なセットとして譲渡や売却される場合に限ります。セットの一部を譲渡や売却することはできません。

■制限事項

富士フイルム株式会社から具体的に使用許諾を与えられている場合を除き、かつ前記事項を制限することなく、以下を行うことはできません。(a) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。(b) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

■警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確若しくは不完全な情報が含まれている可能性があります。

■無保証

本データは「現状のまま」お届けするものであり、その使用は自らの責任において行うことに同意してください。
富士フイルム株式会社とそのライセンサー（及びその先のライセンサー並びに供給者）は、明示的であるか黙示的であるか、法律に由来するものか否かを問わず、本データの内容、品質、正確性、完全性、有効性、信頼性、特定目的への適合性、有用性、用途、本データから得られるべき結果、本データやサーバに中断やエラーのないことなどに関する保証や表明は一切行いません。

■免責条項：

富士フイルム株式会社とそのライセンサー（その先のライセンサー並びに供給者を含む）は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、品質、性能、市販性、特定目的への適合性、権利を侵害していないことなどに関する保証を放棄します。
一部の保証除外が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

■責任の放棄：

富士フイルム株式会社とそのライセンサー（その先のライセンサー並びに供給者を含む）は、以下についてお客様に対し責任は負わないものとします。その原因の本質如何にかかわらず、直接的であるか間接的であるかを問わず、情報の使用若しくは損害を主張する請求、要求若しくは訴訟、又は本情報の使用若しくは本情報を使用できないこと、誤情報、若しくは本書で定められている条件の違反に由来する利益、売上高、契約若しくは貯蓄の損失、その他直接的、間接的、付随的、結果的に生じる損害若しくは特別損害。その際、それが契約に関する訴訟であるか、不法行為訴訟であるか、保証を根拠とするものであるかを問わず、又、たとえかかる損害が生じる可能性について富士フイルム株式会社若しくはそのライセンサーが報告を受けていたとしても責任を負わないことに変わりありません。
一部の免責が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

■輸出規制：

輸出に関する適用法規で義務付けられているすべてのライセンス及び認可を取得、遵守する場合を除き、お届けしたデータ、又はその直接の成果物を一切輸出しないことに同意してください。

■完全なる合意：

以上の条件は、本書に記載されている内容に関する富士フイルム株式会社（とそのライセンサー、その先のライセンサー並びに供給者を含む）とお客様との完全なる合意に相当するものであり、書面によるか口頭によるかを問わず、かかる内容に関してこれまで両社間に存在するすべての合意事項に全面的に取って代わるものです。

■測地系について

本機で記録されている緯度･経度の条件（測地系）は、WGS84 です。

■著作権について

本機に搭載されている地図データは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ナビゲーション機能について

本機はナビゲーション機能を搭載していません。

■許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

本サービスは株式会社ゼンリンのPOI（位置情報）を使用しています。"POWERED BY ZENRIN" は株式会社ゼンリンの商標です。

Australia	Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).
Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia, Cyprus, Estonia, Latvia, Lithuania, Moldova, Poland, Slovenia and/or Ukraine	© EuroGeographics
France	source: Géoroute® IGN France & BD Carto® IGN France
Germany	Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zustaendigen Behoerden entnommen.
Great Britain	Based upon Crown Copyright material.
Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungray	Copyright © 2003: Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000: Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie.

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 **お問い合わせの前にお確かめください。**
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 **富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ**
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html をご覧ください。

3 **巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか? / トラブルが発生する直前の操作は? / カメラの状態は? / トラブルが発生する頻度は?
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短3日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。

  【クイックリペアサービス申し込み先】

  インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php

  電話：050-3786-1020　　※受付時間：月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）

  ファクス：050-3786-2040

  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● 富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急修理サービス

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html を参照してください。
- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

● お買上げ店への持込修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

索引

［ま〜わ］

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ			電話番号	
お名前			FAX 番号	
ご住所	〒　　　ー			
製品名（型番）			ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8 桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	NO.
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー □（　　　）□（　　　） □（　　　）□（　　　）			
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要			
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ			
故障症状 （故障時の様子）				
ご購入時期	20　　年　　月　　※保証書を添付してください。			
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）			
発生状況 発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）			
発生状況 動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると			
発生状況 他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　）			
発生状況 使用電源				

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A	修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
■ 修理納期検索サービス	東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
■ FinePix修理概算見積サービス	当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前 9：30 ～ 午後 5：00）TEL 03-5786-1712